

A 講演の手引き

ここでは、触媒討論会Aでの講演に際して、原稿作成・提出における注意点などの詳細について説明します。講演番号等については、プログラムよりご確認ください（2018年1月12日、触媒学会ホームページ（<http://www.shokubai.org/meeting/>）にて公開予定）。なお、本会内規により、本会が発行する講演予稿集に掲載された予稿の著作権は本会に帰属しますので、著作権行使に関わる諸手続を本会に委任することをご了承願います。

1. 予稿原稿のフォーマット

触媒討論会Aで講演を行う方には、予稿原稿の提出をお願いしております。予稿原稿を作成の際には別添の「A講演テンプレート 121.doc」を必ずお使い下さい。 .docx の保存形式でも受付可能です。テンプレートに設定されているページ設定（行数、行間隔など）を変更しないでください。変更されますと、行数がずれるなどページレイアウトが原稿と異なった状態でPDF変換される可能性があります。なおPDFファイルに変換後、原稿のページレイアウトが多少ずれることが想定されますので、変換されたPDFファイルを十分確認してください。過去に提出された予稿の内容をコピーして今回のテンプレートに貼り付けられる場合、リッチテキスト形式で保存してから貼り付けてください。テンプレートに指定されているフォント以外を使用しますと、PDFファイルに自動変換されず、変換作業が停止してしまいますのでご注意ください。

予稿原稿のフォーマットについての詳細説明を以下に記載しております。参考にお使いください。

(用紙)

A4サイズ、マージン：上下左右20mm、段組み：題名、所属略称、氏名までが1段組、以降が2段組、1ページ、A2講演（秋触討のみ）の場合は2ページで作成すること。

(題名)

14ポイント程度の文字サイズ、日本語フォントはMS明朝体/MS P明朝体、英数字を使う場合は、Times New Romanの強調文字(Bold)を用いる。左上部40×25mm（本会記入欄）は空白にする。副題は全角ダッシュ記号(—)で囲む。

(講演者所属略称と氏名)

10ポイント・MS明朝体/MS P明朝体（英数字はTimes New Roman）。略称は別紙（「所属略称ルール.pdf」）あるいは講演プログラム等で確認の上、指定フォーマットで記載する。氏名と所属を対応させるために、右肩に星印(*)^(*)を用いる。発表者全員の所属が同じ場合、星印は打たない。複数の所属先に所属す

る講演者氏名には、(*1,2)とは記さず、(*1,*2)のように記すこと。研究者氏名にはルビを付ける。講演者（登壇者）氏名の前の“○”は不要ですのでご注意ください。

所属略称と氏名欄から1行空けて、抄録、キーワード、連絡先（メールアドレスと氏名）、本文、文献の順に記載する。10ポイント程度の文字サイズで、MS明朝体/MS P明朝体（英数字はTimes New Roman）を用い、行間を1行とする。また、句読点にはコンマ(,)およびピリオド(.)を用いること。

(抄録)

180字以内で抄録を記載する。

(キーワード)

最大10文字で構成される言葉を5個以内で記載する。区切りには"・"（中点）を使う。（キーワードの記載漏れが多くなっております。必ず書いて下さい）。キーワードは日本語（ただし、英文で書かれた要旨の場合などでは、英語でも構わない）

(連絡先)

代表者のメールアドレス（氏名）を記載する。

(本文)

上の連絡先から1行空けて、本文を書く。見出しについては、上1行を空けて、

1. 緒言

のように、MSゴシック体あるいはMS Pゴシック体、センタリングとする。また、数字のあとにはピリオドを使用し、文字の間に半角スペースをつける。

(本文中での文献の引用)

本文中で文献を引用する場合、その箇所右肩に通し番号で^{1), 1,2), 1-3)}など半角上付きで示す。ピリオドやコンマの前に置く。

(図表など)

・写真等の画像については、グレースケールを推奨する。なお、予稿原稿（PDF変換前）のファイルサイズが2MBを超えないように、図表解像度などを適宜調整すること。

・図表に使うフォントについては、日本語がMS/MS P明朝、MS/MS Pゴシック、英語についてはArial, Helvetica, Symbol, Times New Roman, Wingdingsのいずれかを用いることを推奨する（文字化け回避のため）。

また、ChemDrawやDeltagraphで作成した図表中の文字やシンボルが文字化けしやすいことが知られています。ChemDrawの場合は、MSワード上で文字を記入することで、Deltagraphの場合はシンボルを

DeltaSymbol ではなく Wingdings へと変更することで、解消できます。

(レイアウトずれや $^{\circ}$, Åの文字化けの直し方)

a) 図の貼り付け方法の一例

- ・図の貼り込みについて、以下の方法で行うとレイアウトずれしませんので参考にしてください。
- ・図はイメージファイル (TIFF, ビットマップなど) で一旦保存してから貼り付ける。
- ・図を貼り付ける際には、図を挿入したい位置に、文の途中であっても改行マークを入れ、図を貼り付ける空間を改行でつくる (必要な空間になるように改行を繰り返す)。
- ・テキストボックスを使わず、直接、図を貼り込む。
- ・貼り込んだ図の書式設定を開き、「レイアウト」で「折り返しの種類と配置」を「前面」にする。
- ・図のキャプションは、図と一体の画像にしておくことを推奨する。図とキャプションを分ける場合には、図の直後の本文中にテキストとしてキャプションを入れる。
- ・図に余白部分がある場合は、あらかじめ「トリミング」をする。Word 原稿の上下左右の余白部分にはみ出すように図の範囲を確保するとレイアウトずれの原因になります。
- ・PDF 変換時、図を重ねた部分に縁取りが出る場合はそれぞれの図の背景色を揃えてください (白なら白、透明色なら透明色に統一する)。

b) 反応式などの貼り付け方法

ChemDraw を使用して作成した反応式などは、ベクタ形式画像のため、コピー&ペーストで Word に貼り付けると画質が低下します。ChemDraw 上でラスタ形式のイメージファイル (Jpeg, PNG, BMP など) に一旦保存してから貼り付けてください。

c) $^{\circ}$, Åの挿入方法

Word 上で漢字により”度”を入力し“ $^{\circ}$ ”変換したものは、PDF 変換すると“□”になります (文字化け) ので、以下の方法をご利用ください。

- ・ $^{\circ}$ とÅが文字化けした場合、その部分をワードパッドに一度貼り付けたのち、それをコピーして貼り付ける。
- ・「特殊文字」の” ° (上付き) ”を特殊文字から挿入し、英数字の”C”を英文字で入れる。

(文献)

文献は文末にまとめて以下の例のように書く。

(1 行空ける)

- 1) S. Takenaka, K. Hori, H. Matsune, M. Kishida, *Chem. Lett.*, **34**, 1594 (2005); K. Mori, K. Kagohara, H. Yamashita, *J. Phys. Chem. C*, **112**, 2593 (2008)
- 2) C. A. Grimes, O. K. Varghese, S. Ranjan, *Light, Water, Hydrogen*, Springer, p.35 (2008)
- 3) 岸田, 竹中, 第 98 回触媒討論会 A, 4D08 (2006)
- 4) 小倉, 触媒, **50**, 276 (2008)

5) 山下, 田中, 三宅, 西山, 古南, 八尋, 窪田, 玉置, 触媒・光触媒の科学入門, 講談社 (2006)

2. 予稿原稿の提出方法

Windows OS で予稿原稿を作成された方 予稿の MS ワードファイル (.doc あるいは.docx) を Web 上でご提出ください。提出されたワードファイルは、サーバーで PDF ファイルへ変換された後に確認依頼のメールが送信されます。このメールに従い、変換された PDF ファイルに文字化け、図のずれなどがなければ、著者自身で確認してください。問題がなければ、ホームページ内の“予稿原稿の PDF を確認しました”のボタンを押してください。この作業が完了すれば、著者にメールが送信されます。

Mac OS で予稿原稿を作成された方 Mac OS で予稿原稿を作成された方は、PDF ファイルを著者自身で作成し、Web 上でご提出ください。PDF ファイル提出後、提出された PDF ファイルに文字化け、図のずれなどがなければ、ホームページ上で確認してください。問題がなければ、ホームページ内の“予稿原稿の PDF を確認しました”のボタンを押してください。この作業が完了すれば、著者にメールが送信されます。PDF ファイル作成時には、必ず Mac OS の標準機能 (プリント→PDF→PDF として保存) を使用してください。なお Mac OS 9.x には対応しておりません。

ご提出にあたっては、講演申込時にお知らせした受付番号とパスワードが必要ですので、お手元にご用意の上、ご提出下さい。

*提出された PDF ファイルは、講演予稿集の原稿となりますので、文字化け、図表の不具合等は各自の責任において行っていただきます。予稿作成に際しては、記載に誤りがないか十分吟味してください。

(予稿原稿の修正など)

PDF ファイルに問題があった場合には、修正した予稿原稿を再提出してください。予稿ファイル提出後は、初回提出時と同じプロセスです。変換された PDF ファイルを確認の上、提出して下さい。また、原稿提出後に訂正が見つかった場合、受付期間内であればファイルの再提出が可能です。上述した手順で再提出して下さい。

問い合わせ先：一般社団法人 触媒学会
電話：03-3291-8224 FAX: 03-3291-8225
E-mail: catsj@pb3.so-net.ne.jp